

月刊 かわごえ環境ネット

2020
かわごえ環境ネット

20周年 持続可能な地球と川越へ→

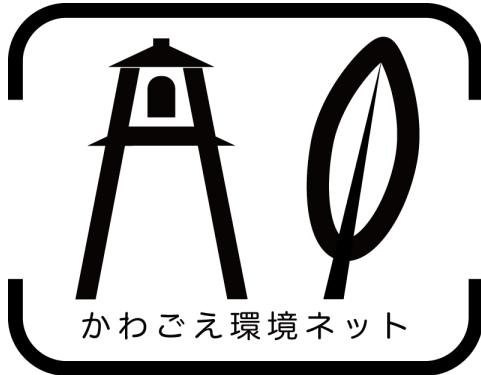
2020年5月号 No.163

<https://kawagoekankyo.net>

2020年5月1日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

新型コロナウイルス感染拡大防止

行事中止のおわび



手を洗おう・換気しよう・人混みを避けよう・離れよう

かわごえ環境ネットロゴも引き続き枠を開けて、「時の鐘」と「葉」の距離を取って新型コロナウイルスの感染拡大防止を啓発します。

なお、本会では4月8日に「新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針」を制定しました。

今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮しながら活動してまいります。

(詳細8面)

広報川越No.1459(2020.3.25)の13ページに掲載していた「パッションフルーツ苗木の育て方講習会」(4月23日・24日)と「春の里山クリーン活動&自然観察」(5月10日)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたしました。すでに参加を申し込まれた方、また、楽しみにされていた方もいらっしゃると思います。たいへん申しわけございません。

また、5月23日(土)に開催する2020年度総会に付随する行事として開催を予定していた「講演会」も中止いたしました。

最新情報は、かわごえ環境ネットホームページ(<https://kawagoekankyo.net>)を随時ご覧ください。



目次

コラム	川越の自然をたずねて(85) まちなかのオアシス 川越八幡宮	2
	川越の「宝」をたずねて(11)(仮称)「川越市森林公園」計画地	3
報告	会員の活動(2題)	4-6
	理事会・専門委員会(3題)	7-8
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事(6題)	8-10
	会員・関係団体の主催・関連行事(5題)	10-11
	広報委員会からのおしらせ	11
	イベントカレンダー(5月3日~7月1日)	12



【コラム】川越の自然をたずねて（85）まちなかのオアシス 川越八幡宮

川越駅東口から昼夜大勢の人でにぎわうクレアモール商店街を200mほど進み、地域住民が大切に育てている花壇が目印のクレアパークを右に折れた先、大きな絵馬が飾られているのが「川越八幡宮」です。

現在、かわごえ環境ネットのメンバーで改訂作業をすすめている「川越の自然」という冊子に掲載する目的で、川越八幡宮を訪問してきましたので、今回ご紹介させていただきます。

川越八幡宮の歴史は古く、平安中期の武将である源頼信（みなもとのよりのぶ）がこの地で必勝祈願を行い、みごと敵陣を抑え込んだことに感謝し、1030年（長元3年）に創建されたと伝えられています。1457年（長禄元年）に川越城が築かれた後は、川越の歴代城主からもあがめられ、酒井氏の一族からは社殿の造営や修繕などがなされました。そして現在、川越八幡宮は良縁やスポーツ必勝など様々なことを祈願する人々の信仰の場であるとともに、「ちんじゅの森コンサート」や「こども相撲大会」などのイベントを行うコミュニティの場にもなっています。それに加え、都市化が進み川越の市街地の緑が減少していく中、貴重な自然を残すまちのオアシスとなっています。

社殿の正面側には、縁結びの夫婦イチョウ、葉の裏に文字を書くことができる「はがきの木」



社殿正面

で知られるタラヨウ、シダレモモ、ウメ、オガタマノキなど個性豊かな木々が植えられています。社殿裏にあるちんじゅの森にはたくさんのサカキやヒサカキがあり、参道近くにはジュウガツザクラ、モミジ、ヒノキ、エノキ、ツバキ、シラカシ、ビワ、ヤマブキ、アジサイなどが育っています。なお、参道は2006年に川越の都市景観の形成と文化の向上に貢献しているとして「都市景観ポイント賞」を受賞しています。

八幡宮の御祭神は応神天皇です。応神天皇には、神靈が山頂の巨石から「金色の鷹」となって出現し、鍛冶の翁、三歳の童子へと変わり、後に「金のハト」に変わったとされる伝説があります。川越八幡宮の境内では、ハトだけでなく、ヒヨドリ、ムクドリ、シジュウカラ、メジロ、オナガなどの野鳥の姿もみることができます。先日訪問した際には、キクイタダキの姿をみかけました。

川越八幡宮は2030年に創建千年を迎えます。これから時代、市街地に残る自然はますます貴重になっていくでしょう。たくさんの人々が気軽に足を運び、自然を身近に感じができるいやしの場として、この宮がさらにいく千年もこの地にあり続けることを願うばかりです。

（増田知久）



夫婦イチョウとオガタマノキ

【コラム】川越の「宝」をたずねて（11）（仮称）川越市森林公園計画地

コラム“川越の「宝」をたずねて”は、かわごえカフェ2019のテーマ、「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は（仮称）川越市森林公園計画地

砂新田・今福地内にある約38haほどの樹林帶で、川越でも一番の動植物の生息地を誇っています。「武藏野の面影を残す雑木林」といえば、川越ではこの地を思い出す人も多いでしょう。

この地は、2004（平成16年）に「雑木林の自然と文化をみんなで育み伝える」公園として、

（仮称）川越市森林公園計画地と称され、公有地化と整備を行っています。

公園計画地内には、ジョイフル（川越南文化会館）を拠点とした「森のさんぽ道」が整備されていて（公有地及び地権者のご協力をいただき整備）、3.4kmと2kmのコースを歩くことができ、森林浴を楽しむことができます。

350年前に人工的に作られたこの雑木林には、現在コナラが多くみられるほか、樹種は60種



森のさんぽ道



ウスキモリノカサ



シュンラン



（仮称）川越市森林公園計画地周辺の川越の「宝」マップ（国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載）

を越えます。これらの樹種にまで増えた時間の流れ、それには、風で運ばれた種、鳥が運んできた種など、四季を重ねる武藏野の育みが雑木林としてこの川越で姿を残していると思うと、宝としてこの地の自然を大切にしていきたいですね。

（仮称）川越市森林公園計画地は、川越市今福1295-2周辺に位置しています。森のさんぽ道を利用する場合の駐車場は、ジョイフル（川越南文化会館）脇にある駐車場をご利用ください。

（文：飯島希、写真：横山三枝子）



川越市：（仮称）川越市森林公園計画地「森のさんぽ道」



川越の「宝」全データのKMLファイル（ダウンロード）

参考文献

川越の自然—雑木林・河川・湧水・社寺林を訪ねて—」
かわごえ環境ネット（2011）

【報告】会員の活動

田んぼと文化の発生を考える

田んぼや畠の文化といつてもあまりピンと来ないかもしれない。ほとんどが神事と結びつき、神社の祭と思われている。

また、時代の変化に従い、食というものも農も影が薄くなっているように思う。農の影が薄れているということは、自然界全体の環境の衰退に関わっていると思う。今、自然という言葉を聞くとき、多くの人は山、川、そして、整備された公園などを思い浮かべる、田畠を自然環境という概念から少し外れた存在としてみているように思う。

かわごえ里山イニシアチブは環境保全、環境発展を踏まえた活動と思う。環境発展は生物多様性の回復、推進をめざしている。この推進のうちに、昔から伝わってきた田んぼを中心とした文化を掘り起こしていくのも活動の一環だと考えている。こんな文化の中で「たなばた」の行事が少しずつ失われようとしている現状にある。「七夕の行事」がある地域、あるいは商店街といった限られたところの行事のように思われる。

昔の人たちは、今日よりも食材を大切にしており、自然界と先祖たちが育んできた大切なモノと認識していた。現代は流通の発展に伴い、食材は常に手に入るというものという、工場品と変わらない製品と思われている。「たなばた」も感謝と希望を託す行事として、有史以前といわれる記述されない歴史時代から連綿と伝えられてきた行事である。彼らは「たなばた」で先祖を祝い、希望を自然と名も知れない不思議な力を生み、あるいは破壊するものに願った。

「たなばた」は漢字で「棚機」と書く。「七夕」と書くのは中国から織姫、天の川、彦星の民話が伝わってきてからだ。たなばたは労働の価値を願い、感謝、



マコモの葉で作る七夕の馬や牛

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

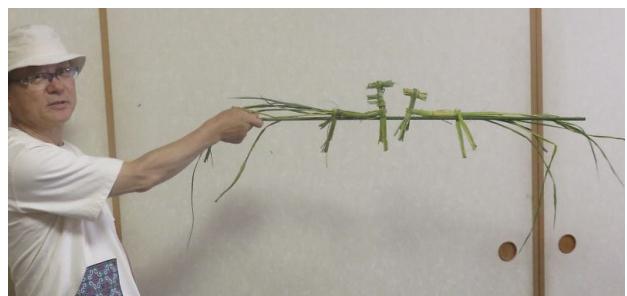
収穫を願う意味合いを持つ。タナバタで作られた織物を童神にささげた。織物は生産物と労働の結晶である。捧げるものは麻織から絹織りを捧げるようにならってきたが、その気持ちは同じだった。また、農業を支えてくれる牛や、馬もその働きへの感謝を込めて飾るようになった。タナバタ馬、牛、ゴザである。

マコモの草を利用するには宗教が発展する前からなぜかマコモに天の力、幸せが降りてくると考えられていたことに発する。天と通じるものとしてマコモの葉でタナバタ馬牛、ゴザを作ることは当たり前になった。この天の神は「社」を持たない、日本のすべての神は神社に集約されていると思われるが、たなばたに祝う神、正月に祝う年神も社をもたない。茅の輪くぐりといわれる大祓いの神も社にいる神ではない。農に関わる多くの神は「社」にいる神ではなく、場所を借りている。

田んぼの文化を探っていくとひじょうに面白い。古代から人間が生活し、発展するときに、あるときは恵みをもたらしてくれ、あるときは死滅させるような災いをもたらし、時に豊作、時には凶作、天気の気ままさに踊らされていた日々、彼らは自然にいろいろな脅威を感じ祈りとした。これらは、今忘れ去られようとしているのではと思う。かわごえ里山イニシアチブの活動は、米やマコモといった実践を中心に食文化、行事文化を本質に戻って伝えていくとしている。

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、田んぼ文化を中心とした自然環境や農を改めて見つめ直す時期に来ているのではないだろうか。

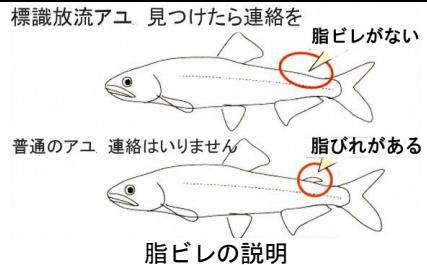
(谷道輝夫)



入間川の堰とアユ



2009年当時の菅間堰



脂ビレ切除の方法演示



2018.4.30 初雁橋下流



2018.4.30 初雁橋下流



2019.5.17 田島屋堰下流

一昔前の1970年頃、高度成長期には公害も共にあり、全国の海や川の水質汚濁はひどいものでしたが、その後各方面の努力で次第に改善され、2000年頃から多摩川、荒川にアユが遡上するようになりました。2008年には秋ヶ瀬取水堰の魚道を93万匹の稚アユが遡上したそうです。そのアユは荒川を上り、川越で一部入間川に入ります。そこですぐに前途を阻むのが、菅間堰です。菅間堰は河床洗堀で3m以上の落差があり、到底上ることはできず、堰の下はどこにも行けない稚アユのたまり場になっていました。もちろん、他の魚類もこれ以上は上れません。

川環境を改善し、天然遡上アユを復活するために、市民が動き始めました。NPO法人荒川流域ネットワークが「流域再生プロジェクト」を立ち上げ、専門的な知識を持つ人や、関心のある人たちに集まってもらい、活動を始めました。これが2009年のことです。河川管理者は埼玉県、堰の所有者は荒川右岸用排水土地改良区（水利組合）で伊佐沼に農業用水を送っており、これらの関係者に魚道設置の働きかけを始めました。

2009年4月、入間川・越辺川水系アユ遡上作戦が始まりました。漁協から稚アユ1万匹を購入し、標識アユとして菅間堰の上に放ち、どこまで遡上できるか調査するのです。標識アユと

は、図のようにアユの脂ビレを切除したもので、入間川には漁協が大量の稚アユを放流しているので、それと区別するためです。脂ビレは切除すると再生されず、個体にあまり影響はないということで標識とします。体調7cmほどの稚アユに少し麻酔をかけて小さなハサミでカットするのはかなり神経をつかいます。第1回は4月26日に50人ほどがこの作業に参加しました。入間川に4867匹、越辺川に4207匹を放流し、あくる日から追跡調査の始まりです。アユの解禁日までは目視、解禁後は投網や釣り人からの情報での調査です。この年、10月末までの延べ26回の調査で、入間川は狭山市の上奥富堰の下まで遡上を確認でき、標識アユは23匹、越辺川は川島町の中山堰までで4匹の確認と荒川流域ネットワークの報告書にあります。

翌年の2010年は2か所で標識アユの放流。入間川は狭山市に入ると上奥富堰、田島屋堰と強固な横断堰が続きます。田島屋堰上流で放流、一部は飯能市の矢廻堰下流まで到達、この流域で18匹が確認、もう一か所は都幾川中山堰上流で放流、6匹が確認されました。入間川は2011年、2012年と次第に上流域に放流をし、最終的に源流域の名郷地区まで遡上できることが確認されました。一方、越辺川流域は支流が多く、

横断堰も多いので、以後、調査はこちらが重点に行われました。

この間、同時進行で関係機関への働きかけをし、2009年に始まった埼玉県の「水辺再生100プラン」に流域13か所の取水堰と床固め工に対する魚道設置を申請しました。上田前知事に意見書を提出し、直接会見して請願もしました。この事業で小畔川のかほく運動公園前にある床固め工の60cmほどの落差に対して、階段式の魚道を設置していただきました。その後「川のまるごと再生プロジェクト」の事業で、これまでの調査から入間川の菅間堰、寺山堰、浅間堰、田島屋堰、笹井堰に魚道設置が行われ、2015年度に一応の完成をみました。その後、それぞれの新設魚道の効果を検証するための調査を行い、改修に向けての知見を蓄積していきました。

2013年からはイベントとして「地曳網で魚とり」を行い、調査を兼ねたアユ漁体験で近隣の市民・子どもたちに川遊びの魅力を体験してもらいました。このイベントは年に3か所くらいで数年間続きました。昨年2019年は魚道効果の調査を中心に行い、菅間堰魚道下、浅間堰に補



2013.9.29 入間川で地曳網



2015.9.5 入間川で地曳網



2019.9.8 越辺川で地曳網



2016年 魚道のついた菅間堰



上奥富堰魚道



田島屋堰魚道

助施設を設置して効果を検証しました。標識アユ放流作業は、5月17日に田島屋堰下流にて実施、入間川と越辺川出丸堰に合わせて3000匹を放流しました。イベントは、8月10日都幾川77名、8月18日高麗川68名、9月8日越辺川55名の参加者で実施されました。

このプロジェクトが立ち上がって10年の歳月が過ぎました。振り返ってみると最初は荒唐無稽のようにも思えましたが、リーダーの方々の着実かつ科学的な方法で根気強く調査が展開され、多くの市民団体・個人が協力してきました。行政もまた、これに応え、入間川には魚道がつきました。魚たちは下流から上流まで行き来できるようになります。「川ガキ」という言葉がありますが、このプロジェクトを始めた方々は、子どものころ自然豊かな川で日がな一日遊んだ川ガキだったのでしょう。豊かな川を取り戻したいという気持ちが根底にあるように思います。

この記事は「NPO 荒川流域ネットワーク」代表理事鈴木勝行氏、「埼玉県魚類研究会」金澤光氏の報告書を基に構成しました。 (賀登環)

【報告】理事会・専門委員会

理事会

4月8日(水)と4月22日(水)の理事会は、緊急事態措置の発出により、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面審議により行われました。主要事項は次の通りです。

第1回理事会(4月8日)

総会を5月23日(土)10:00から川越市役所地下食堂にて行うことにしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時間の短縮と規模の縮小を図ります。

6月7日(日)に実施予定の川の水質調査は、総会開催時等で試薬の配付を行うことを確認しました。調査会場は北公民館を予定しましたが、状況を見て各自で調査するなどの対応を検討します。

「新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針」を4月8日に策定しました。詳細は8ページをご覧ください。

会員向けメールサービスの登録者数増加をめざして、案内文書を本紙に同封することにしました。

個人会員1名が入会し、4月8日現在の会員数は、個人137、民間団体25、事業者26、行政1の合計189となりました。

第2回理事会(4月22日)

4月17日(金)に2019年度会計監査が実施され、会計執行が適正であると確認されたとの報告が事務局からありました。

総会議案書(案)の最終校正作業を行いました。最終修正後、総会案内、返信はがき、総会議案書を本紙に同封して会員に送付します。

5月10日(日)に開催を予定していた「春の里山 自然観察&クリーン活動」の中止を決定しました。

川越市上下水道事業管理者より、川越市上下水道事業経営審議会委員1名の推薦依頼があり、前回より継続して、横山三枝子副理事長を推薦することとしました。

小瀬より「川越市市制施行100周年会議」の書面会議において、「専門部会」へ次期役員候補者2名を応募したと報告しました。(小瀬博之)

社会環境部会

2020年4月の社会環境部会例会は、新型コロナウイルス対策で7日に発令された外出自粛などの緊急要請に従い、事務局等とも連絡を取り、前日の9日に10日の例会中止を決めて代表から会員に文書で審議してもらうことにしました。

5月例会は8日(金)を予定しています。4月23・24日に予定した新年度の最初のグリーンカーテンパッショングルーツ講習会中止の善後策等を始め、具体的な諸対策を検討する予定です。
(社会環境部会代表 武田侃蔵)

自然環境部会

4月例会は10日(金)福田ビル3階にて7名の参加で開催されました。コロナのご時世ですのでマスクをし、席は間をあけて1時間ほどで切り上げました。

1. 活動報告

イベントは2月後半からの自粛対策でみな中止になりました。

①「(仮称)川越市森林公园」計画地定例活動

3月23日(月)23名参加 園内を調査・観察
ヤマザクラが満開、樹木の新芽が次々と出て
いる コスミレ・ヒメスマレなどスマレ類が4種、
クチナシグサも確認。4月13日(月)中止
②池辺公園定例活動 4月14日(火) 中止

2. 協議事項

今年度の事業計画について 新型コロナウイルス対策のためイベントは実施が見通せないが、

状況によって判断する。生き物調査については、
地域を検討し川越全体を視野に入れて地道に実

施することを話し合った。

(自然環境部会代表 賀登環)

予告の掲載に際して重要なおしらせ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、行事開催の変更・延期・中止等が発生しています。かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページ (<https://kawagoekankyo.net>) でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

【トピック①】新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針

かわごえ環境ネットでは、新型コロナウイルス感染拡大を防止するために次のような行動方針を定めました。

1. 会員対象の会合は、3つの「密」(1.換気の悪い密閉空間、2.多数が集まる密集場所、3.間近な会話や発声をする密接場面)を避けて、形態を十分に検討した上で実施することができる。
2. 不特定多数の人が集合して実施する屋内の活動は実施しない。
3. 飲食を伴う活動は実施しない。
4. 屋外での活動は、接触感染と飛沫感染が起こらないように十分に留意及び注意喚起して実施することができる。
5. 主催する活動の積極的な参加呼びかけを行わない。具体的には「月刊かわごえ環境ネット」の表紙への掲載は行わない。また、参加を呼びかける文面を入れない。

6. 実施日に埼玉県や川越市から不要不急の外出自粛要請が出されている場合は、原則として予定されている活動を中止する。
7. 不測の事態に備えて、参加者の身元がわかるよう、活動において参加者の氏名や連絡先の確認、記録を確実にする。また、本会の連絡先(事務局)を参加者に確実に伝える。
8. 本会の活動または関係する活動等において、感染症が発生したと疑われる事実が判明した場合、関係する活動を一定期間中止する。
9. この行動方針は、期間を定めずに当面の間実施する。また、政府や埼玉県、川越市の通達や社会状況の変化に合わせて隨時改訂する。

2020年4月8日

かわごえ環境ネット理事長

小瀬博之

【トピック②・会員向け（再掲）】会費納入のお願い

2020年度会費の納入をお願いします。年会費は、個人会員1,000円、団体会員(民間団体、事業所、川越市)は2,000円です。

5月22日(金)までにゆうちょ銀行の口座に振込をお願いいたします〔口座番号00180-2-13

880(ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行〇一九支店 当座0013880),加入者名:かわごえ環境ネット〕。振込方法によって手数料がかかります。

【トピック③】川の一斉水質調査

毎年6月第1日曜日に「身近な水環境の全国

調査」が行われていますが、今年度は主催者よ

り「全国各地の状況の様子を見ながら各自が安全に実施していただくため、今回に限り必ずしも一斉調査日に実施しなくとも結構です。」という発表がホームページにありました。

本会では予定通り6月7日（日）午前に実施を予定していますが、現状では水質調査の会場確保の目処が立たないことや新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合せずに各自で可能な範囲で調査を行いたいと考えております。

よって、これまでに調査に参加されていた方から参加者を募集し、試薬を配布することにしたいと思います。現状では試薬入手していな

2020年5月号 No.163

いため対応は未確定ですが、5月23日（日）の総会に出席される方には、そこで試薬を配布し、欠席の方には郵送等で対応する予定です。

参加できる方は、5月21日（木）までにかわごえ環境ネット事務局までご連絡ください。

なお、昨年の調査地点は月刊かわごえ環境ネット2019年7月号（No.153）の6ページにある地図をご覧ください。



月刊かわごえ環境ネット 2019年7月号（No.153）

【トピック④・会員向け】2020年度総会

会員各位には5月23日（土）10:00から開催される「2020年度総会」のご案内と返信はがきをお送りいたします。5月15日（金）必着で返信はがきにより出欠をご連絡ください。

総会は、本会の事業計画、予算等について審議・決定する重要なものです。本来ならご出席いただきたいところですが、新型コロナウイル

ス感染拡大防止の観点から、総会議案書をご覧いただいた上で、極力「委任状」の提出による表決の委任をお願いいたします。もしご意見などがありましたら、はがき表面の下半分か電話・FAX・メールで事務局までお伝えください。

なお、例年開催している懇親会は開催いたしません。

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公园」計画地 植物調査・保全活動（毎月第2・第4月曜日）

日時：5月11・25日、6月8・22日（月）

9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第2火曜日、変更の場合もあります）

日時：5月12日・6月9日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺1302）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

会合

【重要】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議方法、会場変更、時間短縮などの対応を行うことがあります。

◆広報委員会（2020年5月度）

日時：5月7日（木）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース

*次回は6月3日（水）9:00-10:00同所

●社会環境部会（2020年5月度）

日時：5月8日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）

*次回は6月12日（金）13:00-15:00同所

*会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会（2020年5月度）

日時：5月8日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）

*次回は6月12日（金）15:00-17:00 同所

*会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2020年度第2回）

日時：5月27日（水）9:00-10:00

場所：福田ビル3階会議室

*次回は6月17日（水）9:00-10:00 同所

◆理事会（2020年度第3回）

日時：5月27日（水）10:00-12:00

場所：福田ビル3階会議室

*次回は6月17日（水）10:00-12:00 同所

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：①5月9日（土）9:30-12:30 ごろ

②6月13日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福677）近く

内容：農作業（B級品のお土産付き）

会費：クラブ員1家族1,000円（年間）

予定表

月	日	活動内容予定
5	9	枝豆畑の片付け
6	13	トウモロコシ畑
7	11 未定	トウモロコシ畑の片づけ 14:00からトウモロコシ畑
8		（お休み）

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623）

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域コミュニティ作りを行っています。入会は随時受け付けております。hatsukarinosato@googlegroups.comにお問い合わせください。

【おことわり】5月5日（火）もしくは6日（水）

に予定していた「ストロベリーキャンドルピクニック」は、外出自粛要請に基づき、行事としての開催を取り止めます。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 <http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

【おことわり】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、川越キャンパスは入構禁止となっております（緊急事態宣言解除までの予定）。また、8月5日までの本学主催の各種行事・会議・イベント等を中止または延期を検討することになっています。以上のことから、7月までの活動を休止することにしました。

* Web サイト（組織概要・東洋大学「こもれびの森」植物図鑑ダウンロードなど）

<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

* Facebook ページ（最新の活動報告）

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama>

* Twitter（中止連絡などの緊急告知）

<https://twitter.com/toyokomorebi>



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃藏（Tel.090-2521-5770）

【おことわり】5月の活動は、「新型コロナウィルス予防」の会員の意見で一部は中止し、様子見て再開予定。

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：5月5日（火）は中止、5月15日（金）6月2日（火）・19日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：5月10日・6月14日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第4土曜日

日時：5月23日・6月27日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①5月24日（日）9:00 新河岸川中流、杉下橋横集合。河道整備の状況観察と合わせて、両岸歩道のごみ拾い。11:00 オアシス裏でごみ分別して解散予定。

②6月28日（日）9:00 新河岸川下流、旭橋右岸たもと集合。扇橋から川崎橋まで分担で上下流の両岸清掃。11:00 旭橋左岸空き地に分別収集して解散予定。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウォッチング

（毎月第2日曜日、雨天中止）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円（保険代・資料代）

①5月10日（日）10:00-12:00

10日からバードウイークです。鳥たちの子育

てをじやまないように、沼で繁殖するカツブリ、オオヨシキリを観察します。

②6月14日（日）

カルガモ、カツブリの雛連れは、誰もがほほえみます。アジサシが沼に飛び込んでエサを探ります。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2020年6月号（No.164、6月2日発行予定）

の掲載原稿は、5月15日（金）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本

庁舎5階）に提出してください。

○おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（5月3日～7月1日）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、行事開催の変更・延期・中止等が発生しています（二重取消線）。かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土	
5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日 ◎11:00 ストロ ベリーキャンド ルピタニック ◎13:30 まち 美化啓発運動	5/6 振替休日 ◎11:00 ストロ ベリーキャンド ルピタニック	5/7 ◆9:00 広報委 員会	5/8 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	5/9 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験	
5/10 ◎9:30 春の里 山自然観察＆ クリーン活動 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊左沼でバ ードウォッチング	5/11 ★9:30 (仮称) 川越 市森林公園恒地 植物調査・保全活動	5/12 ★9:00 池辺公 園定例活動	5/13	5/14	5/15 ◎13:30 まち 美化啓発運動 ○総会出欠返信 期限(必着) ○本紙6月号 投稿期限	5/16	
5/17	5/18	5/19	5/20	5/21 ○川の一斉水質 調査申込期限	5/22 ○会費納入期 限	5/23 ●10:00 総会 ◎13:30 まち 美化啓発運動	
5/24 ◎9:00 新河岸川 市内流域清掃	5/25 ★9:30 (仮称) 川越 市森林公園恒地 植物調査・保全活動	5/26	5/27 ★9:00 事業運 営委員会 ★10:00 理事会	5/28	5/29	5/30	
5/31	6/1	6/2 ◎13:30 まち 美化啓発運動 ○本紙6月号 発行(予定)	6/3 ◆9:00 広報委 員会	6/4	6/5	6/6	
6/7	6/8 ★9:30 (仮称) 川越 市森林公園恒地 植物調査・保全活動	6/9 ★9:00 池辺公 園定例活動	6/10	6/11	6/12 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	6/13 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験	
6/14 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊左沼でバ ードウォッチング	6/15 ○本紙7月号 投稿期限	6/16	6/17 ★9:00 事業運 営委員会 ★10:00 理事会	6/18	6/19 ◎13:30 まち 美化啓発運動	6/20	
6/21	6/22 ★9:30 (仮称) 川越 市森林公園恒地 植物調査・保全活動	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27 ◎13:30 まち 美化啓発運動	
6/28 ◎9:00 新河岸川 市内流域清掃	6/29	6/30	7/1	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ○：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください			